

経営体の概要

- ・所在地：茨城県笠間市
- ・経営体名：M農園
- ・栽培作物・作付面積：水耕大玉トマト37a
- ・従業員数：7名（うちパート6名）（令和6年5月現在）



導入技術

- ・環境測定装置（（株）誠和）
- ・炭酸ガス発生機（（株）ネプン）
- ・細霧冷房装置（（株）ノーユー社）
- ・ハウスのかさ上げ工事（誘引高220cm→280cm）
- ・統合環境制御装置（（株）誠和）



生育調査に基づいた
環境改善の取組

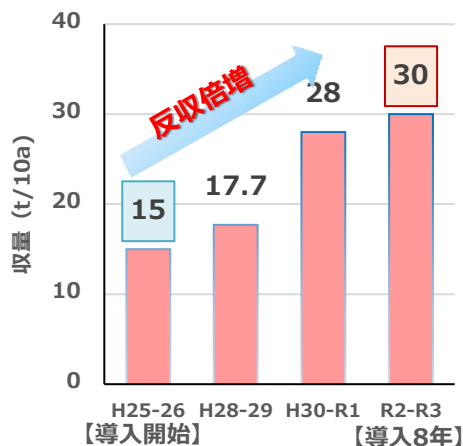
導入経緯

- 平成25年度に環境測定装置を導入し、「ハウス内環境の見える化」を図るとともに、トマトの多収技術について取り組みを開始した。
- 補助事業を活用して、炭酸ガス発生機（H29）や細霧冷房装置（H30）、ハウスのかさ上げ工事（H30）、統合環境制御装置（R1）の導入によるハウス内環境改善等に取り組んだ。

取組の特徴・効果

- 環境測定装置導入により、「ハウス内環境を見える化」し、改善すべき点を把握し、炭酸ガス発生機や、細霧冷房装置の導入、ハウスのかさ上げ工事等により、ハウス内環境を改善した。
- 温度や日射量等外気象に応じトマトの生育を制御するため、統合環境制御装置を導入し、環境と栽培管理の適正化を目指してきた。
- 技術の活用にあたっては週1回生育調査（茎伸長量、茎径、開花房距離、LAI）を行い、植物の状態にあわせた、環境及び培養液管理に活用している。
- 取り組みの結果、取組開始8年後には収量は倍増し、30t/10aを確保した。さらなる環境改善のため、既存施設のリノベーションや高温対策に注力し、収益性向上を目指している。

10a収量の推移



経営効果

